

両郷地区市政懇談会

日 時：平成30年7月18日（水）午後1時30分

会 場：両郷地区コミュニティセンター



懇談テーマⅠ 鳥獣被害に関するご意見

ICT を活用した効率的な対策の実績及び今年度の計画。

野生鳥獣防護柵設置事業の実績及び今年度の計画。

捕獲・駆除の今年度の計画。

里山林の緩衝帯の整備実績及び今年度の計画。

《ご回答》

栃木県が事業主体の「ICT を活用した効率的な対策」の実績ですが、平成28年度には南方・雲岩寺地区、平成29年度には須佐木・雲岩寺・露久保地区において、カメラ14台・センサー12台を設置し、実証試験を実施いたしました。

今年度は、業務委託の入札を7月中旬に実施予定ですので、実際にカメラ等を設置するのは、昨年度同様被害が増えてくる9月ごろになるかと思います。

野生鳥獣防護柵設置事業の実績及び今年度計画については、平成27年度が申請30件・設置延長8,466m・補助金171万7,000円、平成28年度が申請33件・設置延長7,175m・補助金165万9,000円、平成29年度は申請96件・設置延長39,629m・補助金659万2,000円となっており、今年6月末時点の実績は、申請21件・設置延長12,390m・補助金96万5,000円となっております。

捕獲・駆除の今年度の計画についてですが、平成28年度に策定いたしました「大田原市鳥獣被害防止計画」においては、平成29年度から平成31年度までの3年間の捕獲計画数は毎年130頭としておりますが、平成29年度の捕獲頭数は174頭となっており、計画を大きく上回っている状況です。

里山林整備の「とちぎの元気な森づくり県民税事業」は、今年度から第二期目に入りま

したが、両郷地区では、河原地区が第一期目からこの事業に取り組んでおり、引き続き第二期目で新たに創設された管理事業に取り組む予定になっております。

また、新規の寺宿地区で 6ha の整備を計画しており、初年度は市で森林整備を行い、その後の 4 年間は地元管理団体が管理を予定しております。

懇談テーマⅡ 地方創生・行財政改革に関するご意見

「おおたわら国造りプラン」の実実施計画の平成 30 年度の重点事業について
両郷地区については、どのような計画であるかについて

《ご回答》

平成 30 年度事業計画の総事業費は 231 億 6,730 万円となっており、主な事業としましては、「効率的・効果的な行財政運営のまちづくり」として、市庁舎復興再整備事業費 30 億 6,040 万円を計上しております。また、「道路・河川の整備」におきまして、国の交付金事業を含めた道路改良工事費及び道路・橋梁の修繕費等に 17 億 9,390 万円、小中学校の給食費完全無料化を継続するため、学校給食サービス事業費に 2 億 6,370 万円などを計上しております。

両郷地区におきましては、自然環境の保全に関する「有害鳥獣対策事業」、農業の振興に関する「中山間地域等直接支払交付金事業」、地域住民の生活福祉の向上にも繋がるデマンド交通を含む「市営バス運行事業」、さらには文化・芸術活動の拠点となる芸術文化研究所の運営、地域内の道路整備、学校やコミュニティ施設の維持管理などを継続して実施しております。

懇談テーマⅢ 少子化・子育て・男女共同参画に関するご意見

少子・高齢化対策における市の対応策について
対策の実績及びこれからの計画について

《ご回答》

平成 27 年 3 月に「大田原市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、さまざまな子育て支援施策、「教育・保育サービスの充実」「地域における子育て支援サービスの充実」「地域における子どもの活動の場や機会の確保」「安心して出産できる環境づくり」として手厚い子育て支援事業を行っております。

「子ども・子育て支援事業計画」の次期計画を平成 31 年度に策定する予定ですので、市民の皆様のニーズ調査を実施し、子育て政策をさらに一層充実させてまいります。

次に、高齢化対策についてであります。平成 30 年 4 月 1 日現在、本市の高齢化率は 28.12%で、団塊の世代が 75 歳を迎える 2025 年には、高齢化率が 32.3%と推計されて

おり、3人に1人が高齢者となると見込まれております。

平成12年に介護保険制度が開始されて以来、「大田原市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」、通称「あんしんプラン」に基づき、高齢者施策を実施しており、今年度から3年間の計画期間とする第7期計画がスタートしたところです。

本市の高齢者施策は、大きく分けると介護保険事業と高齢者福祉事業に分類され、介護が必要になった場合、必要なサービスが必要な時に受けられる環境と、地域の支え愛の活動など高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる体制を整えています。高齢者福祉事業は要介護状態でなくても、安心して不便のない生活を送れるよう各種支援を実施しております。

懇談会でいただいたご意見

○効果的な鳥獣対策について

《ご回答》 市としては、鳥獣被害対策実施隊ということで、民間5名の隊員の方と職員2名の7名体制を整え、国・県との縦と市町との横の連携を取りながら、色々な方策を検討し、継続した対策を実施してまいります。

○両郷中央小のプールの修繕について

《ご回答》 プールの維持管理の問題と合わせて、プールにずっと水を入れておくことによる環境問題により、全国的には各学校にプールを設置しない方向に進んでいます。今現在は白紙の状態です。

○マイナンバーカードについて

《ご回答》 マイナンバーカードの利便性としては、本人確認の書類、税の電子申告、児童手当の現況届手続き等ができるようになっています。

○鳥獣対策の啓蒙活動について

《ご回答》 意識面のPRを実施隊といっしょに啓蒙していきたいと考えております。

○学童保育について

《ご回答》 学童保育は、学校が終わり家庭に帰ったときに子どもを見てくれる人がいないということが前提になりますが、両郷中央小では家庭で保育ができない、利用を希望する児童数が10人に満たないため、厚労省の補助事業外となり、黒羽幼稚園にお願いしています。